

牛込御門から江戸城へ登城～九段坂と北の丸公園～

◆日時 2019年5月17日(金) 9時30分～12時30分ごろ

◆集合 午前9時25分 飯田橋駅西口 牛込見附跡 交番付近

◆案内 エコまち歩き案内 小山裕三氏

●コース

牛込御門(見附)跡→東京大神宮→筑土神社(神楽坂から移った)→九段坂→靖国神社→田安門→北の丸公園→千鳥ヶ淵→代官町通り→清水門→牛ヶ淵→地下鉄九段下駅

▼寛永13年(1636)、外濠に牛込御門(見附)が完成しました。

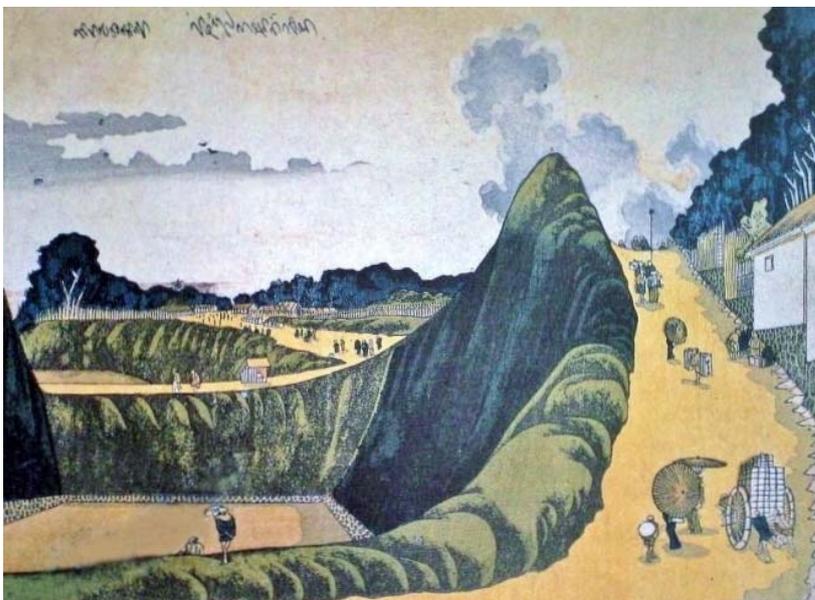
そのころは大老酒井忠勝が坂上の矢来町に屋敷を拝領していて、牛込御門と結ぶ、約1kmの大老登城道が造られ、沿道は武家屋敷として地割りされました。これがほぼ現在の「神楽坂通り」です。

また、牛込御門(見附)は田安門を起点とする「上州道」の出口として交通の拠点でした。

▼田安門のある、北の丸公園あたりは、江戸時代のはじめ、後に現新宿御苑に屋敷を持つ、当時関東総奉行

だった内藤清成(ないとうきよなり)らの屋敷となり、代官町と呼ばれていました。その後、3代将軍家光の弟、徳川忠長や春日局などの屋敷となりますが、享保16年(1731)に8代将軍吉宗の次男徳川宗武(御三卿田安家=四谷4丁目に下屋敷)、宝暦8年(1758)に9代将軍家重の次男徳川重好(御三卿清水家=高田馬場に下屋敷の庭園・甘泉園)がそれぞれ上屋敷をこの地に与えられています。*図は、北斎が描いた九段坂(手前の牛ヶ淵と奥の千鳥ヶ淵の間の土橋の左に田安門)。

今日は小人数で小山氏を含め12名で歩きました。東京大神宮、北の丸公園など普段行きそうでいかなかったところもしくは行っているが立ち寄ったことがないところを歩きました。東京大神宮は若者にも大人気でいつも大行列です。入った途端「わあ～」と感嘆の声を上げるほどびっくりしました。また北の丸公園はいつも堀近くばかり



見ていましたが上から見ると

またまた素晴らしい！滝があったり・・・と。この時期滝の音や、水辺の涼しさはお金のかからない避暑にもっ



てこいですね。

次回は6月11日（火）青梅街道を堀之内妙法寺」に参詣アジサイと菖蒲を観賞です。

9時25分成子天神鳥居前に集合です。